

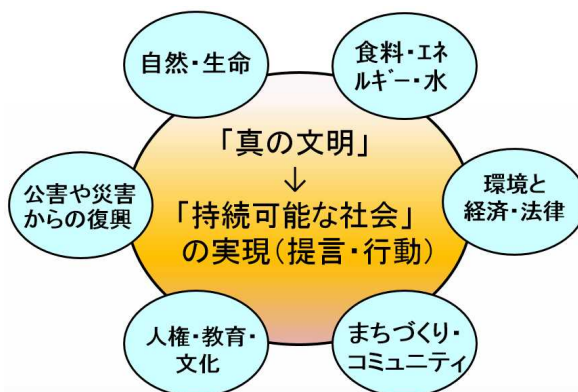
SGHリレー講座

「持続可能な社会の実現」に関わる 6領域の大学講座

2016年6月14日(火) 6, 7限目。高1を対象とした第3回「SGHリレー講座」を実施しました。

本校のSGH活動では、郷土の偉人「田中正造」が目指した「真の文明」を「**持続可能な社会**」と捉え、その実現に関わる6つの領域に関する課題研究を行います。本日は、6つの領域に関する大学の研究者の講義を聴き、自分がどの領域で、どのような課題研究を行うかを考える際のヒントをつかむことが目的です。

生徒は**6つの講座から2つを選択**し、6限目と7限目にそれぞれ1講座ずつ受講しました。



	領域	講師	講義のタイトル	受講者数	
				6限目	7限目
①	公害や災害からの復興	宇都宮大学国際学部 松金公正 教授	「東日本大震災と台湾」	16名	28名
②	自然・生命	同 農学部 松井宏之 教授	「流域の水環境の見方」	26名	13名
③	食料・エネルギー・水	同 国際学部 松尾昌樹 准教授	「石油は呪われている！ ～石油がもたらす負の効果～」	33名	34名
④	環境と経済・政治	同 国際学部 高橋若菜 准教授	「環境と経済は両立するか～スウェーデン社会の持続可能な発展に向けた取組に学ぶ」	33名	35名
⑤	まちづくり・コミュニティ	同 地域デザイン科学部 石井大一郎 准教授	「まちづくり・コミュニティの基礎的理解～若者が挑戦するまちづくりの実践～」	18名	21名
⑥	人権・教育・文化	同 留学生・国際交流センター 湯本浩之 准教授	「持続可能な社会づくりに向けた教育：今、高校生にできる“教育”とは何だろうか？」	33名	28名

*今回は連携大学である「宇都宮大学」の全面的な協力のもとに企画・実施しました。本校のSGH活動に協力・支援していただける、様々な学部等の先生方に来ていただきました。



①公害や災害からの復興 ～ 松金先生

(講義メモ)・物事は具体的に考える。分かるまで考える。台湾は親日的というイメージは、ただのイメージにすぎない。
 (感想)・台湾と日本との関係にすごく感動した。これからも信頼関係を守っていきたい。



②自然・生命 ～ 松井先生

(講義メモ)・佐野市は分流式下水道。洪水が起きない前提から起きる前提の社会へ。人間の大部分は水でできている。
 (感想)・河川は、いい感じの水質、水量が保たれると、いい感じの環境が形成される。



③食料・エネルギー・水 ～ 松尾先生

(講義メモ)・石油の呪い→1 経済成長に貢献しない。2 民主化を阻害する。3 女性の地位向上を妨げる。4 内戦を誘発する。
 →どうすれば呪いを解けるのか?→探す!
 (感想)・スマホを使って質問を集めるという発想が凄い。課題を探す能力を身につけたい。



④環境と経済・政治 ～ 高橋先生

(講義メモ)・アジアよりもヨーロッパの方が地球温暖化について関心が高い。水害が起こりやすくなっている。世界で最初に「環境と経済」の両立を果たした国は実は日本だった。
 (感想)・スウェーデンでは、簡単にできるゴミの分別が経済に深く関わっていた。



⑤まちづくり・コミュニティ ～ 石井先生

(講義メモ)・私達が生きていく時代は親の時代とは全く違う(→人口減少)・協働のまちづくり・地域をまず知ることが大切
 (感想)・環境を良くすることが良いまちづくりにつながるということが印象に残った。明るい雰囲気協働できるまちづくりをしたい。



⑥人権・教育・文化 ～ 湯本先生

(講義メモ)・「世界を変えるための17の目標」の中には「安全な水とトイレを世界中に」というものがあつた。日本では当たり前のことがそうではない国がたくさんある。
 (感想)・自分たちにできることはたくさんあることがわかつた。地球のために何かしたい。